

抗議文

米軍はこの間韓国軍と共に大規模な合同軍事演習を展開してきた。3月1日から4月30日まで二ヶ月にわたって続く合同野外機動演習「フォール・イーグル」(米軍1万人、韓国軍20万人)であり、3月11日から3月21日までおこなわれた合同指揮所演習「キー・リゾルブ」(米軍3500人、韓国軍1万人)である。これらの軍事演習は朝鮮民主主義人民共和国(以下、共和国)に対するあからさまな侵略戦争演習であり、朝鮮半島における軍事緊張を高めている主要因になっている。われわれは、朝鮮半島に戦争の危機をつくりだしているこれらの軍事演習を強く弾劾し、現在も続くフォール・イーグル演習の中止を求める。

米軍は今回のフォール・イーグル演習において、最新鋭の部隊を朝鮮半島とその周辺海域に展開させることで、共和国に対する恫喝と戦争挑発をこれまで以上にエスカレートさせている。米軍は巡航ミサイル・トマホークを搭載した原子力潜水艦シャイアンや弾道ミサイル迎撃能力のあるイージス艦ジョン・S・マケインなどを今回の演習に投入し、さらに核兵器が搭載可能なB-52戦略爆撃機やB-2ステルス爆撃機、最新鋭のF-22ステルス爆撃機さえ参加させた。また、海上配備型のXバンドレーダーを朝鮮半島沖に向けて移動させている。まさに陸海空をつらぬいて核攻撃をも想定した全面的な侵略戦争演習が展開されているのだ。これと連動して日本政府もまた、「共和国のミサイルを迎撃する」として「破壊措置命令」を発動し、対共和国の軍事態勢を強めている。このような米日韓政府による共和国に対する戦争挑発・戦争準備をわれわれは徹底的に弾劾する。

われわれはまた、米日政府が進めようとする京都府京丹後市経ヶ岬への米軍Xバンドレーダー配備に断固反対する。それは共和国に対する軍事的包囲網の一環であり、160人規模の米兵・米軍関係者が駐留する新たな米軍基地建設に他ならない。われわれは朝鮮半島の緊張をさらに高めるこの経ヶ岬Xバンドレーダー基地建設に反対し、それを阻止するためにたたかい抜く。

今年には朝鮮戦争休戦協定の締結から60年目にあたる。いま求められていることは、このあまりにも長期にわたって続いてきた休戦状態を早急に終わらせ、休戦協定を平和協定へと転換し、米朝・日朝の国交正常化を実現し、それによって朝鮮半島の永続的な平和と自主的平和統一のための基盤を築くことである。駐韓米軍の存在と米韓合同軍事演習のエスカレーション、米日韓政府による共和国への敵視と戦争挑発がこれに真っ向から敵対するものであることは明らかだ。

いま米軍のアジア重点化戦略のもとで、アジア太平洋各地で米軍展開と米軍基地の強化がおしすすめられようとしている。フィリピンでは今月17日まで米比合同演習「バリカタン」がおこなわれ、米軍のフィリピンへの恒常的な駐留体制がますます強化されようとしている。韓国・済州島では米軍のアジア戦略と一体となった韓国海軍基地建設が強行されている。沖縄、岩国、神奈川において米軍基地の新設・強化が進められようとしている。現地の民衆の反対の声を踏みにじり、弾圧をともなって進められているこれらの策動は即刻中止されねばならない。

今回の米韓フォール・イーグル演習に参加したF-22ステルス爆撃機は嘉手納基地に配備されており、原子力潜水艦やイージス艦は横須賀を母港とする第七艦隊に所属している。米比バリカタン演習においては普天間基地からオスプレイが参加し、日本の自衛隊も参加している。在沖・在日米軍基地はますますアジア・世界への侵略戦争・軍事介入の出撃拠点として強化され、米日の軍事一体化が進められようとしている。われわれはたたかうアジア太平洋地域の民衆と連帯し、このような策動と断固としてたたかう。米韓・米比合同軍事演習弾劾！経ヶ岬Xバンドレーダー建設反対！沖縄、岩国、神奈川、そしてアジアから米軍は総撤退せよ！

2013年4月26日
アジア共同行動首都圏、アメリカ大使館抗議行動参加者一同